

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	松本山雅応援事業
事業主体 (連絡先)	山形村 0263-98-3111
事業区分	(3) 教育及び文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	458,273 円 (うち支援金: 337,000 円)

事業内容

○山形村デーの実施

平成26年11月9日、松本平広域公園内アルウィンにおいて、山形村デーとして抽選会やアウェイサポーターへの村特産の長いも及び観光パンフレットの配布等を行った。

○小学生による壁掛けの作成

地元小学生に松本山雅を応援する壁掛けを作成してもらい、山形村デー及びJ1昇格報告会の際会場に飾った。



【山形村デー抽選会】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 山形村デーについて、村内の団体に協力を要請し、共にイベントを実施した。また、山形村デー当日会場に掲示した壁掛けの作成を村児童館に依頼し、地元小学生に作成してもらった。地域の小学生や団体に事業に携わってもらうことにより、村全体の松本山雅FCを応援する気運を高めることができた。
- ② 平成26年5月に発足した山雅後援会山形支部と共に山形村デーを実施することにより、発足間もない後援会の活動を促すことができた。また、イベント中に、これを機に後援会に加入するという村民の声も数件聞かれ、後援会のさらなる拡大が期待できる。
- ③ 村の特産物等を景品とした抽選会等により、近隣サポーターに山形村の魅力を再発信するだけでなく、アウェイサポーターに村特産の長いもと観光パンフレットを配布することで、県外に向けても山形村の魅力を発信することができた。

【目標・ねらい】

- ① 地域住民及び団体との協働
- ② 山雅後援会山形支部の育成支援
- ③ 山形村の魅力発信

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今回の山形村デーは、役場職員による山形村デー実行委員会が中心となり事業を実施したが、次回以降は山雅後援会をはじめ地域住民からさらに多くの協力者を募り、実施する予定である。そしていずれは山雅後援会が主体となり、役場がサポートをする形で実施することにより、事業を継続していく予定である。地域住民主体で事業を継続していくことで、地域の気運をさらに高め、また、近隣地域及び県外(対戦チームサポーター)へ山形村の魅力を発信し続けていく。

※自己評価【 B 】

【理由】

山雅後援会山形支部、山形村開村140周年記念事業推進実行委員会、地元小学生と連携を図ることで、概ね予定していた効果を得ることができた。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある